



2024年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年6月12日

上場会社名 株式会社ベストワンドットコム
コード番号 6577 URL <http://www.best1cruise-corp.info/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田秀太
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 国門量祐
四半期報告書提出予定日 2024年6月12日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5312-6247

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期第3四半期の連結業績(2023年8月1日～2024年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第3四半期	2,023	184.4	43		55		36	
2023年7月期第3四半期	711	415.3	26		30		31	

(注) 包括利益 2024年7月期第3四半期 39百万円 (%) 2023年7月期第3四半期 32百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第3四半期	25.45	24.07
2023年7月期第3四半期	23.53	

(注) 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第3四半期	2,982	861	28.7
2023年7月期	2,661	716	26.7

(参考) 自己資本 2024年7月期第3四半期 856百万円 2023年7月期 711百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期		0.00		0.00	0.00
2024年7月期		0.00			
2024年7月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年7月期の連結業績予想(2023年8月1日～2024年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,350 ～ 3,250	76.5 ～ 144.1	100 ～ 300		75 ～ 275				

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注)詳細は、添付資料8頁「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年7月期3Q	1,469,360 株	2023年7月期	1,407,560 株
2024年7月期3Q	13,786 株	2023年7月期	13,786 株
2024年7月期3Q	1,448,285 株	2023年7月期3Q	1,332,414 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、24年1—3月期の実質GDPが、季調済前期比年率▲2.0%とマイナス成長に転じたものの、先行きについて、24年度以降は、内需を中心とした底堅い成長軌道に復すると予測されております。一方で、米欧での物価高の再燃リスクや、中国経済の失速懸念、中東を中心とする地政学リスクのさらなる悪化等、海外情勢による不安定要素も多数存在しています。また、クルーズ業界においては、昨年3月の日本発着外国船の運航再開以降、お客様の需要は堅調に回復してきております。

このような状況のもと、当社グループはMSCベリッシマを中心としたゴールデンウィークに催行されたクルーズの販促や、6月に当社が単独でチャーターするコスタセレーナ金沢発着クルーズの販促、季節ごとの大規模キャンペーンの実施等を行ってまいりました。今年のゴールデンウィークはMSCベリッシマのキャビンの買い取りを行いました。買い取りしていたキャビン数を大幅に上回るご予約をいただくことができました。その他、ダイヤモンド・プリンセスのご予約も多数いただくことができました。6月にチャーターするコスタセレーナについては、北陸地方でのテレビCMや新聞広告の他に、金沢、富山、福井、東京、福岡、大阪、名古屋等日本各地でセミナーを開催し、多数のお客様にご参加いただきました。また、国内発着クルーズ・海外発着クルーズ問わず、お得な料金でご提供する「初夏・真夏のミラクルパワーセール」等、引き続き季節ごとの大規模キャンペーンも行ってまいりました。その結果として、2—4月の予約受注額についても、同じ月としての過去最高を毎月更新いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,023,642千円（前年同期比184.4%増）、営業利益は43,003千円（前年同四半期は26,857千円の営業損失）、経常利益は55,808千円（前年同四半期は30,907千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は36,853千円（前年同四半期は31,349千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて321,202千円増加し、2,982,931千円となりました。これは主に、現金及び預金が201,794千円、その他流動資産が49,930千円、旅行前払金が42,086千円、未収入金が27,389千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べて175,823千円増加し、2,121,442千円となりました。これは主に、未払金が18,016千円減少した一方、契約負債が127,700千円、1年以内返済長期借入金が27,586千円、長期借入金が16,082千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べて145,379千円増加し、861,488千円となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入により資本金が53,074千円、資本剰余金が53,074千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が36,853千円増加したことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月に開催したMSCベリッシマでのチャータークルーズや、2024年ゴールデンウィークに買い取りしていた同MSCベリッシマのキャビンの販売を中心に販売が堅調に推移したため、第3四半期時点での連結売上高が前回発表予想の下限の2,000百万円を突破しました。そのため、連結売上高の下限を引き上げることといたしました。

なお、6月にチャーターするコスタセレーナ金沢発着クルーズの催行が完了するまでは、不確定要素が多く、レンジでの開示が妥当と判断しておりますため、修正内容を連結売上高の下限の引き上げのみに留めております。連結売上高の上限については、引き続き、当期内出発の受注が堅調に進んだ場合に達成可能な水準であると考えており、連結売上高の下限については、コスタセレーナ金沢発着チャータークルーズを加味しない数値となっております。

一方で、連結営業利益、連結経常利益については、当初の計画通りの進捗であるため、前回予想を据え置くことといたします。また、親会社株主に帰属する当期純利益を算出するにあたっては税効果を考慮する必要があるのですが、その計算根拠となる2025年7月期の予算数値を算出することが現時点においても困難なため、親会社株主に帰属する当期純利益の予想数値を算出することができず、引き続き、非開示といたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,220,797	1,422,592
旅行前払金	703,558	745,645
未収入金	116,558	143,947
未収還付法人税等	380	380
その他	54,169	104,100
流動資産合計	2,095,464	2,416,665
固定資産		
有形固定資産	139,532	136,925
無形固定資産		
のれん	36,616	33,855
その他	87,269	92,772
無形固定資産合計	123,886	126,628
投資その他の資産	300,007	299,616
固定資産合計	563,426	563,170
繰延資産	2,837	3,095
資産合計	2,661,728	2,982,931

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	232,532	260,118
未払金	34,300	16,283
未払法人税等	6,645	20,582
賞与引当金	—	750
役員賞与引当金	—	6,187
契約負債	861,908	989,609
その他	13,194	14,755
流動負債合計	1,148,581	1,308,286
固定負債		
長期借入金	785,891	801,973
その他	11,145	11,182
固定負債合計	797,037	813,156
負債合計	1,945,618	2,121,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,953	528,027
資本剰余金	391,453	444,527
利益剰余金	△116,002	△79,149
自己株式	△35,280	△35,280
株主資本合計	715,123	858,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,574	△1,395
その他の包括利益累計額合計	△3,574	△1,395
新株予約権	4,561	4,758
純資産合計	716,109	861,488
負債純資産合計	2,661,728	2,982,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年8月1日 至2023年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年8月1日 至2024年4月30日)
売上高	711,645	2,023,642
売上原価	513,158	1,631,871
売上総利益	198,486	391,771
販売費及び一般管理費	225,344	348,767
営業利益又は営業損失(△)	△26,857	43,003
営業外収益		
受取利息	1,642	1,389
為替差益	1,419	11,848
受取配当金	0	0
補助金収入	—	8,340
助成金収入	36	—
ポイント収入額	1,705	1,555
その他	265	90
営業外収益合計	5,068	23,225
営業外費用		
支払利息	5,176	5,764
新株予約権発行費償却	1,418	1,882
投資事業組合運用損	2,523	1,051
投資有価証券償還損	—	1,722
営業外費用合計	9,118	10,420
経常利益又は経常損失(△)	△30,907	55,808
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△30,907	55,808
法人税等	441	18,954
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△31,349	36,853
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△31,349	36,853

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△31,349	36,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,080	2,178
その他の包括利益合計	△1,080	2,178
四半期包括利益	△32,429	39,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△32,429	39,032
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)

当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)

当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は次のとおりであります。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
海外旅行	500,458	1,920,192
国内旅行	182,069	78,872
その他	29,116	24,578
顧客との取引から生じる収益	711,645	2,023,642
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	711,645	2,023,642

(重要な後発事象)

該当事項はありません。